

整理番号	
受付印	担当者

感染防止チェックリスト

まめ Pod、ホワイエ、楽屋、アリーナ控室 (10/1～)

<入場制限> (11月末までの暫定人数)

- 人と人との間隔を確保できるように余裕を持った大きさの施設を利用し対面や大声をできるだけ避けること。
 (当面、感染防止の理由による施設の変更はキャンセル料を不要とします)

ホールエリア

- ホワイエ 20名、 楽屋 101 11名、 楽屋 201 11名、 楽屋 203 8名、
 楽屋 102 1名、 楽屋 202 1名、 スタッフ控室 1 1名、 スタッフ控室 2 2名、

棚田エリア *プレイルームは当面使用中止

- マルチスタジオ 66名(テーブル利用) 80名(イスのみ利用)、 工作室 7名、
 多目的室 A 16名、 多目的室 B 8名、 和室 14名、 メディアラボ 8名、
 音楽練習室 1名、

アリーナエリア

- アリーナ控室 1 8名、 アリーナ控室 2 8名、 アリーナ控室 3 8名

(受付)

- 各部屋に設置してある手指消毒剤を必ず使用すること。
 参加者がマスクをしているか確認し着用を徹底すること。(主催者は予備マスクを準備)
 37.5℃以上または平熱を超える発熱。軽度でも咳・咽頭痛等の症状がある人は入場しないように呼び掛けること。
 発熱者を体温計で特定し入場を制限すること。
 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮へいすること。
 「岐阜県感染警戒 QR システム」、厚生労働省の「接触確認アプリ」への登録を推奨します。
 利用者全員について以下の事項を確認するための個票、または、一覧表を会館に提出する。(確認後返却します) 利用責任者は、2 か月間保存し感染者が発生した場合は下呂交流会館及び保健所等の公的機関へ情報提供をすること。

- ・ 氏名、年齢、住所、電話番号、当日の体温 (※個人情報の取扱いに十分注意)
- ・ 最近2週間における以下の事項の有無
 - ア 37.5℃以上または平熱を超える発熱
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠感)、息苦しさ
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(会場内)

- 会場内ではマスクを着用すること、接触を避け、会話をなるべく控えること。
- 座席は、対面を避け、前後左右を空けた席配置として、感染予防措置をとること。
- 食事はテーブル利用の定員内で対面を避け、会話を控えて摂ること。

(部屋の換気、消毒)

- 密閉空間にならないよう、エアコンは「換気+空調」モードに設定し、「送風」、「冷房」、「暖房」運転をする。さらに、定期的にドアを開け外気を取り入れるよう努めること。
- 室内で複数の参加者が触れる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）をこまめに消毒すること。
- 利用後は使用したテーブルやイスをそのままの状態にしておくこと。（会館で消毒の上、片付けを行います）

(共有スペース)

- 当面、共有スペースのテーブル、イスの使用は中止。館内での長時間滞在や共有スペースでの食事は不可。

(物販)

- 現金の受け渡しは、トレーを使用し接触をできるだけ減らすように努めること。
- 物販を行う場合、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔を開けて整列すること。
- 物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底すること。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮へいすること。多くの者が触れるようなサンプル品・見本品を置かないこと。

(ゴミについて)

- ゴミについては、ビニール袋に入れて密閉して縛り、持ち帰ること。

(利用後の留意事項)

- 当日の参加者に提出を求めた書面について、個人情報の取扱いに十分注意しながら、2ヵ月間は保存すること。
- 参加者が新型コロナウイルスに感染した場合は、保健所等の公的機関へ情報提供を行うことについて承諾すること。

行事の名称 _____	利用日 _____	
団体名 _____	責任者 _____	
住所 _____	電話 _____	日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日